芦北の海——

梅雨が明けると、夏の海は一段と輝きを増す。

背後には、緑鮮やかな甘夏畑。対岸に天草を望む芦北の海岸線は、リアス式海岸特有の美しさを持つ自然公園として知られる。

沖あいに、小さく見える打瀬(うたせ)船は、ここ芦北に古くから伝わる底引網漁法を引継いでいる。まっ青な海に、白い帆を張った詩情豊かな姿は、不知火海のシンボルである。

夏本番を迎えた海岸近くでは、サーファーたちが技を競いあい、海水浴客たちの歓声が響く。近くには、国民保養所や、湯浦温泉、キャンプ場など、レジャー施設も多く、芦北海岸は、夏の行楽地として一躍脚光を浴びだした。

太陽に溶ける。潮風に抱かれる。芦北の夏。

撮影　池田輝明さん